

進路だより

★
NO. 8

平成22年 7月懇談日 発行

先日は、大変な蒸し暑さの中、進路説明会に参加いただきましてありがとうございました。本日の懇談は三者懇談です。時間が限られますので、もう少し相談がしたい。・・・と思われましたら連絡をいただければ、担任、進路担当、主任が時間を設定したいと思います。よろしくお願い致します。

義務教育を終え、社会に出る人も、進学を考える人も、15歳の春に笑顔で巣立てるようしっかり考えていきましょう。



こんな質問ありました

Q 1 : 希望している高校を受検（受験）することはできますか？

A 1 : 個人的、具体的な答えを要求されていると思います。基本としては、受検（受験）は誰でもできます。その高校が自分に合っているか、という質問だと思いますが、その子の性格にもよるし、実力や環境によっても違います。

レベルの高い高校ならば、自分も伸びる・・・と信じて高校を選び、結果、学習についていけず、日々、ヒーヒーいながら、高校生活を送る子もいます。定期テストはよくできるけれど、実力テストになると、はかばかしくない子に多いように思います。頭の回転が速く、飲み込みのよい子。読み取りの力があり、根性があり、自分の将来にははっきりとした目標を持っている子はレベルの高い高校で成功する場合があります。自分の性格や3年後の進路をイメージして、よく考えてください。

学校側としては、先輩たちの過去の例からのアドバイスをいたします。

Q 2 : 公立に推薦してもらえる可能性はありますか？

A 2 : どんなに肩書きがあろうが、どんなに部活で活躍した実績があろうが、まずは、その学校に見合う、成績があること。一般入試では合格しないであろう・・・と思われる人物を推薦する訳にはいきません。

そして、「人物が優秀である」こと。これは、中学校のあらゆる先生が見ています。（一人の先生の見方に偏らないためです。）そして、3学期の始め頃、決められた期間の中で、自分で推薦を申し出てもらいます。

その後、担当職員で『推薦委員会』を開き、最終的には学校長が推薦をすることになります。（掃除・あいさつ・返事・ルールを守る・当番をきちんとやる・理由のない遅刻・欠席がないなど・・・まずは、それができていることは私立の推薦においても最低限の条件です。）

また、12月以降に、高校によっては、『推薦入学実施要項』をホームページ上で発表するところもあります。（昨年のもので残っている学校もありますので、チェックしてみるといいでしょう。）

公立の推薦は、「一般入試で確実に受かる学力があること。」その上で、「その高校に見合う、実績・資格があるかどうか。」などの面から総合判断されます。そして、推薦されても、高校に受かる保証は全くなく、高校が可否を決定します。

日々の生活・学習を今一度見直して、まずは自分で、GO!サインを出してください。



体験入学・学校説明会に参加する人へ

体験入学・説明会は、その高校を知る大変よいチャンスです。
そして、同時に、高校も中学生を**見るよい機会**なのです。あいさつ、服装、頭髪、持ち物、時間など、是非、しっかりとした行動をとってください。

体験校への行き方

※ もし、その高校に通うことになったら、どの経路が良いのか……。自分で調べて自己責任において行ってください。おうちの方の送迎でもかまいませんが、できれば、毎日通うことを前提に行ってみると、より有意義な体験になると思います。

※ 万が一、交通事故でけがをした場合など、学校で入っている保険の補償があります。
しかし、寄り道と思われる経路で 事故に遭うと補償されません。
教育活動中ですので、自覚を持って参加してください。



※ 自転車で行く場合、ヘルメットを着用してください。自転車通学以外の人で家にヘルメットが無い場合は、学校から貸し出すことができます。

服装・持ち物

※ 制服で。(学校によっては、学校指定の体操服を指示される場合もあります。)

※ サブバッグを基本とします。持ち物が多い場合はメインバッグも良いでしょう。
筆記用具・上靴・ビニール袋・その他 指定されたものを忘れないでください。
(上靴や体育館シューズを指定される場合も多々あります。あなたの上靴のかかとは大丈夫？名前以外の落書きなど、もちろん無いですね。)

時刻

※ 集合時間に遅刻をしないでください。**20分前**には着けるよう計画してください。
もし、遅刻しそうな時は参加先の学校と坂中へ連絡してください。

必ず連絡を！！

また、勝手に行くことをやめたりすると相手の高校に迷惑がかかります。突然の病気、事故の時には、必ず**坂中と相手の高校**に**自分で連絡**してください。

相手の学校には、参加する子の名簿がつくってあります。**あなたの名前が残っています。**

社会に通用するマナーを考えて行動しましょう。



夏を制するものは

昔から、受験生に言われる言葉・・・「**夏を制するものは受験(検)を制する。**」・・・聞いたことあるかな？

先日本屋さんに立ち寄ったところ、もう『愛知県の公立高校過去5年分』なる問題集が売られていました。まだ、過去問を研究する時期ではありませんが、そんなのも売られ始めたのね・・・などと時が経つ速さに、妙に感心してしまいました。また、その横にあった『高校入試オレが合格させてやる！！』というタイトルの本を手にとったところ、「そう！その通り！！」と言いたくなる先輩たちの言葉が満載されていました。その中の一部を紹介したいと思います。

「攻める夏」

「固める冬」

夏は実力アップのビッグチャンス！ 受験生にとって、40日間の『夏』はどんな意味を持つのだろう？その重要性についてE・Kさんは・・・

夏休みって「受験(検)はまだ、先」って感じで、今一実感がないのよね。これが危険なの。2学期になって「さあ、やるぞ！」って思っても実力テストや内申対策で意外と時間がとれないし、受験勉強のコツのようなものも身につけてないから意外とノレないの。「夏にやっておかないと、他にやれる時はない。」と思った方がいいわ。

・・・・・・・・・・そう考えている人ももちろん多いはず・・・

しかし、せっかくのやる気も、空回りにならないようにしないと・・・
みなさんが陥りやすい5つの失敗が、マンガで描かれていました。

失敗その1・・・「やらなきゃいけない」のはわかっているが、何から手をつけたらいいか・・・と思っているうちに、宿題さえもできなかった・・・

失敗その2・・・気合い満点で、あちこちの問題集などに手を出しすぎてどれも極められなかった・・・

失敗その3・・・理科は苦手だけど、英語が得意だから、カバーできるだろう！などと「苦手」を甘く見て、避けたため、後にタイヘンなことに・・・

失敗その4・・・「几帳面に・・・」やりすぎて、(きれいに書くのに命をかけすぎて)復習が間に合わない・・・

失敗その5・・・「塾に頼りきり」で勉強をやった気になり、家では全く復習せず、実力が逆に落ちてしまった・・・

・・・『高校入試オレが合格させてやる！！』・・・より

過去の先輩たちにも、確かにそんな人たちがいました。どうぞ、同じ穴に落ちぬよう、自分をコントロールする力をつけていってください。(自分をコントロールする力を『自律心』といいます。学校では、清掃活動でも顕著に表れます。・・・先生が見ていようが、いまいが一生懸命いやなことでも、やる。がまんしてできる心。・・・社会にでてから、仕事の場面で発揮されるので、自律心のある人は評価を受ける。・・・やってるうちに楽しみをみつけれられるようになる人もいます。)

では、具体的にどういう方法で勉強に取り組むか。・・・

以下も参考にしてください。

1 己の力を過信せず、自分に合った計画を立てる。

- ① 40日間の行事をカレンダーや計画表に書き出す。体験入学の日も忘れずに！！
- ② 勉強に使える時間を把握する。
- ③ 学校から指定されている、大きな宿題をやる日を決めておく。(感想文・レポートなど、2学期の成績に反映するので必ずやろうね！！)
- ④ 学校から出されている宿題をやる時間を決める。(人によって、かかる時間に個人差がありますので、自分はどのくらいでできるのかによって、計画は違ってくるね。)
- ⑤ 英語と数学はたとえ30分でも20分でも必ず毎日やる。
- ⑥ 理科・社会・国語の苦手分野はまとめて、ドカーンとやって克服する。
- ⑦ 1日最低6時間の勉強をする。

2 具体的に何を勉強するか。

- ① 学校から、**5教科のテキスト**の宿題が出されています。(塾へ行き、塾の計画に沿って塾の宿題もやる人は、学校からの宿題が精一杯かも知れません。)
- ② 塾に行っていないし、何をやっていこうか困る・・・という人は、是非**マイペースをノートなどで22～23までぐらいを2度3度とやってください**。マイペース20までが、1・2年の復習になっています。ですから、22～23までは3年の1学期の内容のはず。答え合わせをきちんとし、要点をまとめ直す。それでも、不安な部分は教科書に立ち戻る。・・・あちこちの問題集を浮気して回るより、夏は徹底的に一つの問題集で基礎を固める時です。
- ③ 英単語の復習は、夕ご飯前の10分や、寝る前の5分でも使って、必ず繰り返していく。隙間をみつけて、復習し、脳みそにすりこんでください。

3 効率よく勉強するために

- ① やる気の素はスタートにあり。例えば、勉強を始める前に、ストレッチをし、着替えてから、お茶を飲んだら、始める・・・など、自分「恒例の儀式」などを決めて、テンションを上げていくのも一つの手。また、「漢字」、「昨日覚えた英単語の復習」、「計算」、などの単純作業からスタート。乗ってきたところで、めんどろなテーマにはいる。・・・好スタートで、やる気に火をつけましょう。
- ② 目の前に時計やタイマーを置いて、制限時間を決めて勉強するのもいいですね。ダラダラとしませんよ。
- ③ 休憩を効率よく取る。ぶっ続けで3時間よりも、1時間ずつの勉強を午前2セット、午後2セット、夜2セット・・・これで合計6時間。昼間の暑い時間帯は読書や趣味につかってもよし・・・長期戦を戦うには極端な無理はよくない。でも、そんなんじゃ間に合わない！！って人は、是非もっと時間を増やしてがんばるべし！！



4 計画の修正を・・・一週間単位で見直す

最初にたてた計画がどうもうまくいかない・・・または、計画よりもっといけそうだな・・・そんな時は是非一週間単位で予備日をとっておいて、見直しをし、計画を修正していきましょう。40日終わった時に、とにかくこれだけの計画をやりきった！！と自分で自分をほめてあげられる夏休みにするために、計画の修正は早め早めに！！